

土木学会全国大会 国際関連行事について

会 場：立命館大学 びわこ・くさつキャンパス コアステーション2階 大会議室
 参加学協会（予定）：バングラデシュ工学会、インドネシア工学会、大韓土木学会、モンゴル土木学会、
 ネパール技術者協会、パキスタン工学会、中国土木水利工程学会、フィリピン土木学会、トルコ土木学会、
 土木学会韓国分会、台湾分会ほか

以下の行事は、全国大会に参加申込み（講演・聴講）された方であれば、どなたでも参加できます。

9月20日（水）

時 間	行事タイトル	概 要
10:00～13:00	JSCE-KSCE コンクリートジョイントセミナー 「日韓インフラ維持管理戦略」 “Maintenance and Management Strategy of Infrastructures in Japan and Korea”	先進諸国ではこれまで膨大なインフラが蓄積されてきた。資源の節約や建設投資の縮小を考慮すると、今後はこれらを如何に効率よく維持管理していくかが極めて重要となる。本セミナーでは、日本と韓国におけるインフラの維持管理戦略並びに技術に関する最新の動向について紹介される。
14:00～16:00	ラウンドテーブルミーティング 「災害からの復興に向けた国際協調のありかた」 “Restoration and Reconstruction from Natural Disasters”	アジア地域は世界有数の自然災害多発地域であり、支援や復興に向けた活動に関心が高まっている。いかに効果的・効率的に土木技術者は人々のためにより安全な環境を作り出すことができるか、緊急災害時の支援における国際的協働のあり方について、ACECC の活用も視野に入れて議論する。
16:30～18:00	パネルディスカッション （研究討論会） 「土木技術の将来 - 土木技術者の環境問題への挑戦」 “Future of Civil Engineering: Civil Engineers' challenges to Environmental Issues”	グローバル化の進展とともに、持続可能な発展に果すべき土木技術および土木技術者の役割はますます大きくなっている。国内のみならず広域的な環境問題に土木技術者はどう取り組んでいるか、また今後、どのように取り組むべきか、土木技術者に求められる資質とは何か、学会は土木技術者の資質向上のために何をすべきか、などの観点から討論する。

9月21日（木）

時 間	行事タイトル	概 要
9:00～10:30	全国大会英語共通セッション 「開発途上国におけるプロジェクト - 問題・解決策・成果 - 」 “Projects in developing countries - Problems, Solutions and Achievements - ”	開発途上国における建設プロジェクトでは、気候・風土や文化・言語の違いなど様々な要因に端を発する国際プロジェクト特有の問題が発生する。このセッションでは、プロジェクト遂行上のノウハウの共有化を目的とし、プロジェクトマネジメント、環境保全、防災、要素技術開発、技術移転・人材育成などの観点から発表する。
10:50～12:20 日本語	研究討論会（ACECC 担当委員会） 「アジア域内における設計基準の調和に向けて」	土木工学における異なる分野のコード作成に携わる技術者、研究者が一同に会し、相互の情報共有と国際戦略を議論することを目的に、台湾で ACECC 主催のワークショップが 11 月に開催される。それに先立ち、日本側の意見をとりまとめるため、地盤、コンクリート、鋼構造、耐震などのコード策定関係技術者が集まり、国際戦略のあり方等を討論する。

ACECC（アジア土木学協会連合協議会）：JSCE（日本）をはじめ 8ヶ国の土木関連学協会により構成されている。アジア土木技術国際会議（CECAR）を継続的に主催するとともに、多国間連携のもと、アジア地域が抱える社会資本整備や土木技術に関する課題を討議し、問題解決を図っている。